

2017年3月期 決算補足資料

2017年5月11日

2017年3月期決算のポイント

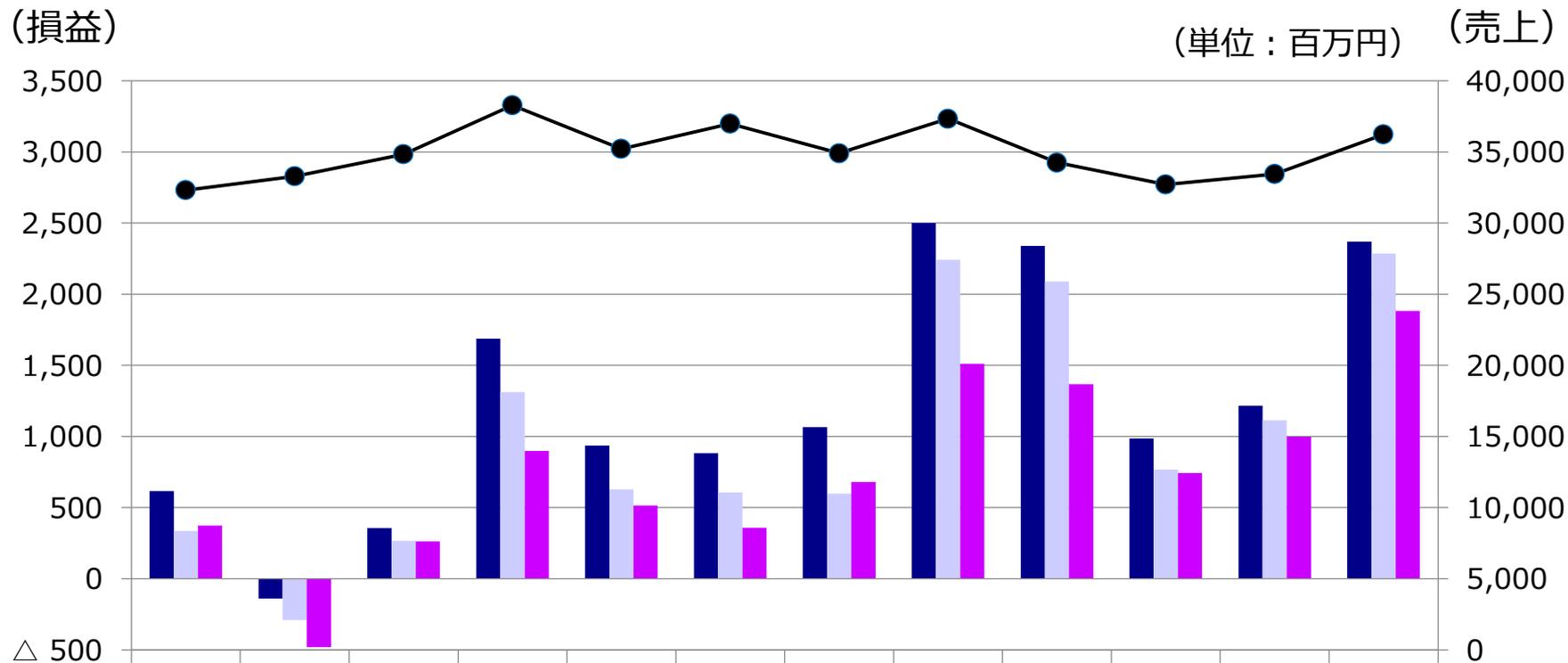
(単位：百万円)

	2016年3月期		2017年3月期		増減	
	金額	対前年比	金額	対前年比	金額	対前年比
売上高	144,451	100.0%	136,657	100.0%	△7,794	△5.4%
営業利益	5,385	3.7%	6,912	5.1%	1,527	28.4%
経常利益	4,077	2.8%	6,256	4.6%	2,179	53.5%
当期純利益	3,062	2.1%	4,992	3.7%	1,930	63.0%
EPS (円)	118.50円		193.15円		74.65円	

《全体感》

- 売上：受注量は増加。円高基調の為替相場、地金市況下落の影響で売上は減少
- 営業利益：生産性改善、原価低減、販売量増加により増益
- 経常利益：営業利益の増加及び支払利息・為替差損の減少により増益
- 当期純利益：経常利益の増加及び固定資産・投資有価証券の売却益により増益
- EPS：当期純利益の増加により、74.65円/株増加

連結決算概要（四半期推移）



	15/3 1Q	15/3 2Q	15/3 3Q	15/3 4Q	16/3 1Q	16/3 2Q	16/3 3Q	16/3 4Q	17/3 1Q	17/3 2Q	17/3 3Q	17/3 4Q
△ 500												
■ 営業損益	617	△ 139	355	1,688	936	883	1,066	2,500	2,340	986	1,216	2,370
■ 経常損益	336	△ 291	266	1,311	629	607	599	2,242	2,090	767	1,113	2,286
■ 当期純損益	374	△ 481	262	899	514	358	680	1,510	1,368	744	998	1,882
● 売上高	32,312	33,294	34,842	38,279	35,217	36,989	34,913	37,332	34,258	32,718	33,453	36,228

ダイカスト事業

(単位：百万円)

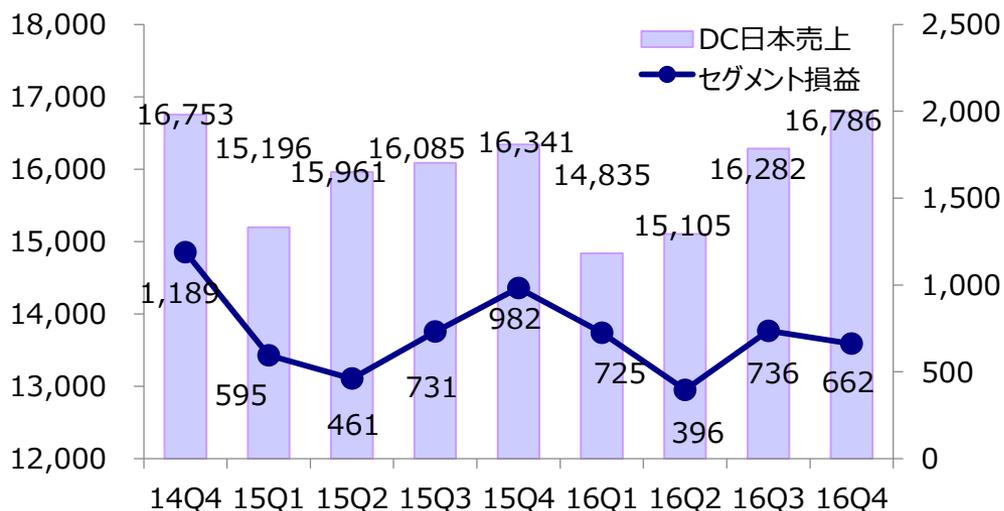
		2016年3月期		2017年3月期		増減	
日本	売上高	63,583	100.0%	63,008	100.0%	△575	△0.9%
	セグメント 損益	2,769	4.4%	2,519	4.0%	△250	△9.0%
北米	売上高	45,760	100.0%	40,854	100.0%	△4,906	△10.7%
	セグメント 損益	1,521	3.3%	2,163	5.3%	642	42.2%
アジア	売上高	27,594	100.0%	26,128	100.0%	△1,466	△5.3%
	セグメント 損益	573	2.1%	1,758	6.7%	1,185	206.6%

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率
2016/3期：53.6%⇒2017/3期：51.5%

※ セグメント別の増減要因については、次ページ以降で説明

ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移 (単位：百万円)



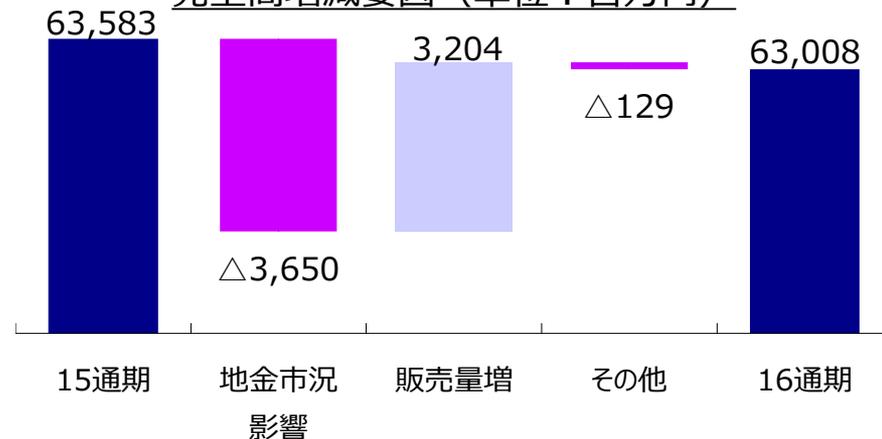
売上：5.7億円減（前期比0.9%減）

- 北米向け輸出は好調。受注量は増加（5.0%増）
- アルミ地金市況下落の影響で売上減少

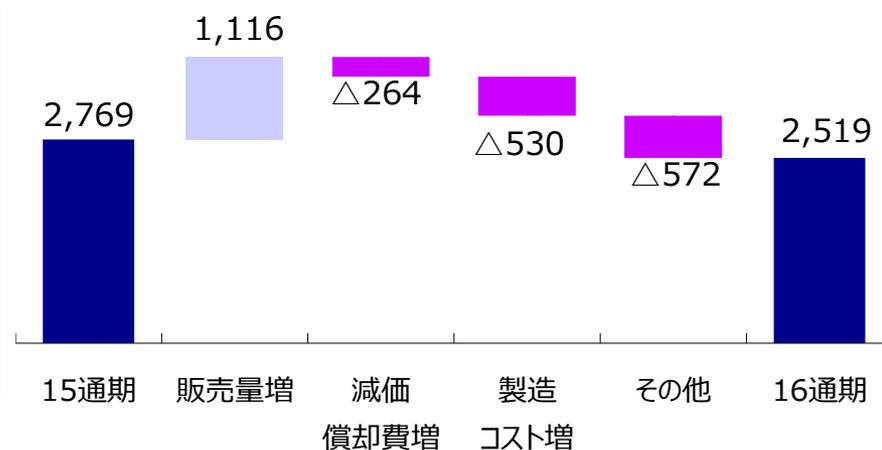
セグメント損益：2.5億円減（前期比9.0%減）

- 減価償却費、労務費の増加等により減益

売上高増減要因 (単位：百万円)

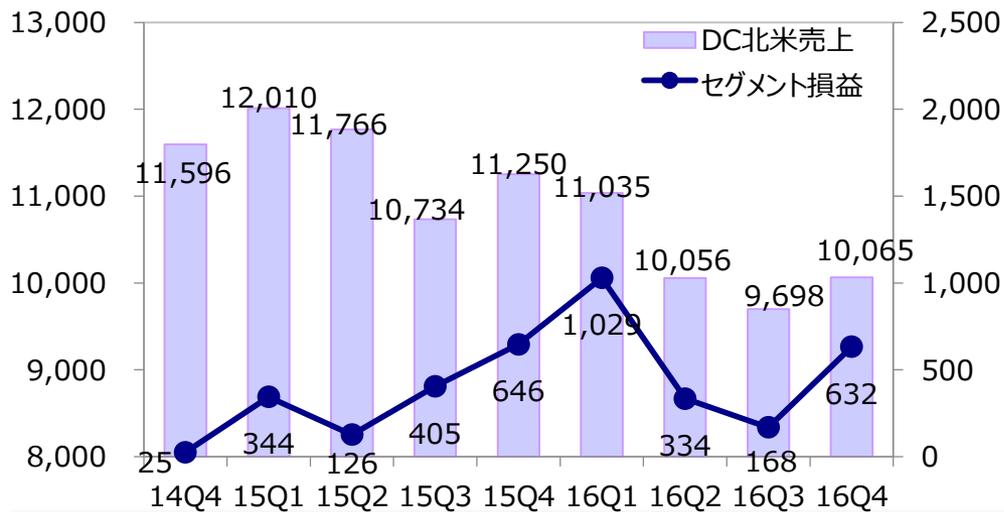


セグメント損益増減要因 (単位：百万円)



ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移 (単位：百万円)



売上：49億円減 (前期比10.7%減)

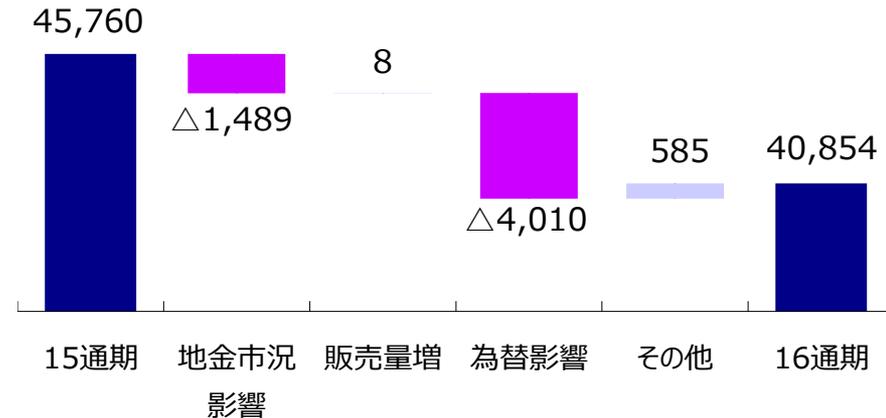
- ライトトラック系部品の受注が好調
- 一部顧客の生産終了に伴う受注減少
- 地金市況下落及び為替の影響で売上減少

セグメント損益：6.4億円増 (前期比42.2%増)

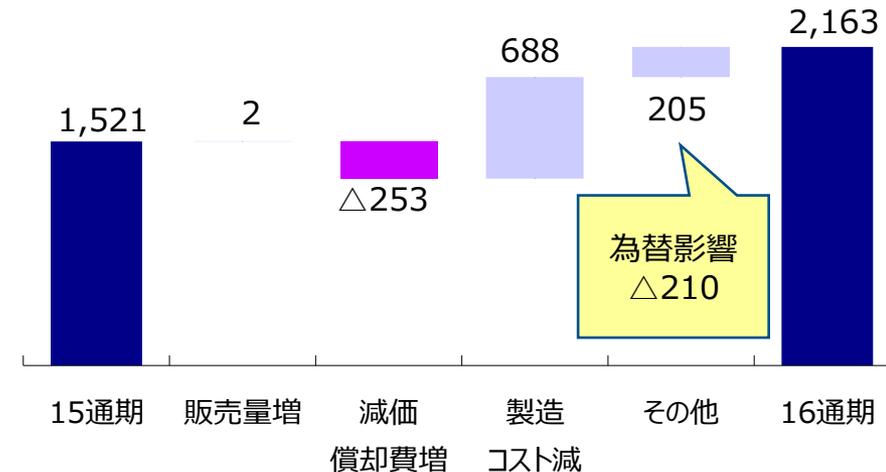
- 主にメキシコの生産性改善効果により製造コストが減少し増益

決算期：アメリカ3月期、メキシコ12月期
 レート (15通期⇒16通期) アメリカ 120.01⇒109.18 メキシコ 121.00⇒110.30

売上高増減要因 (単位：百万円)

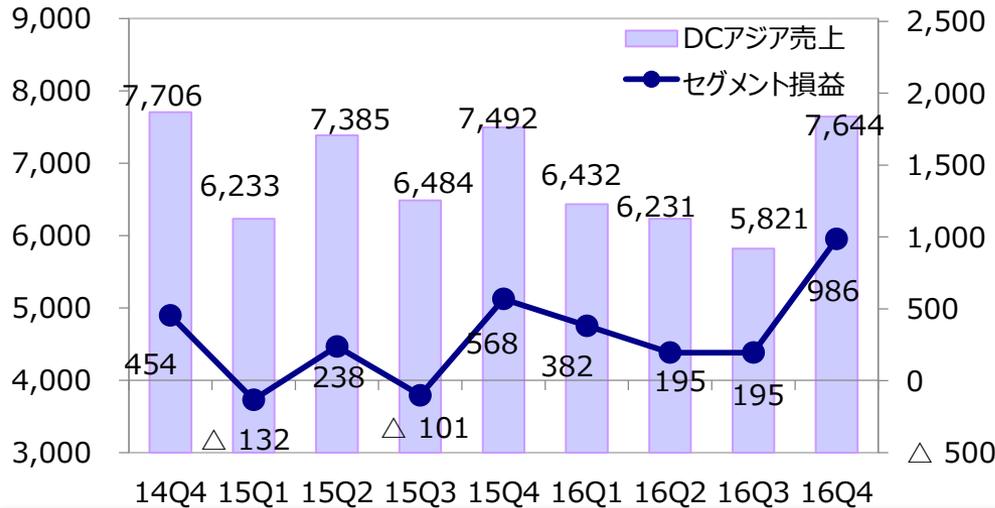


セグメント損益増減要因 (単位：百万円)

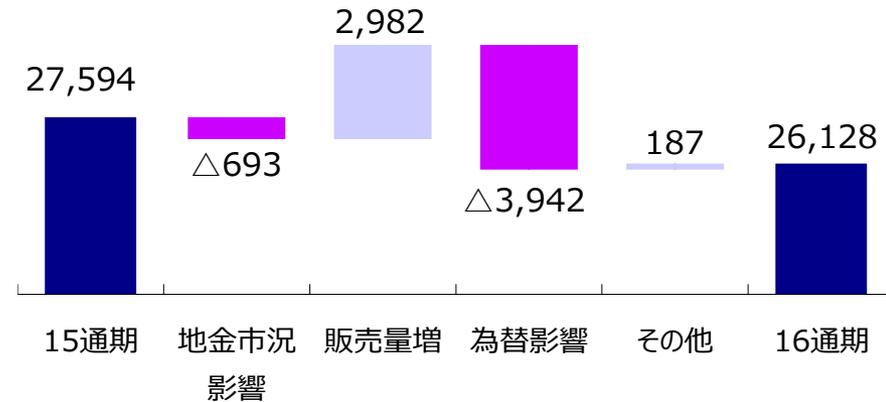


ダイカストアジア

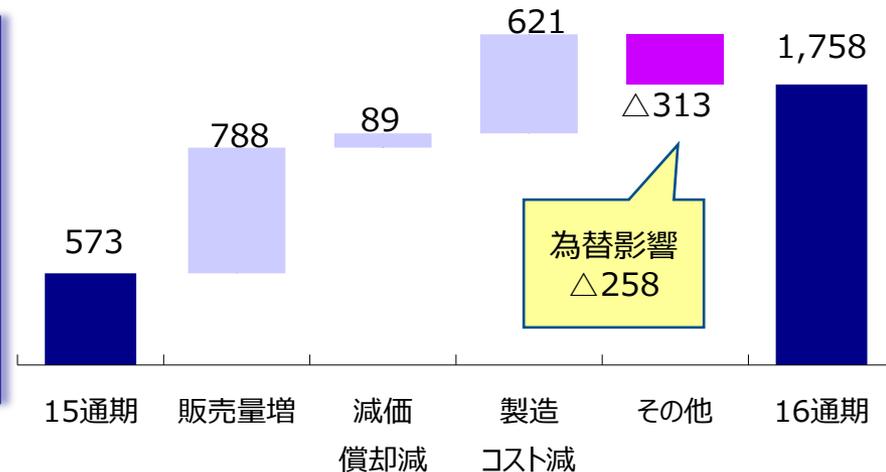
ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



売上：14.6億円減（前期比5.3%減）

- 地金市況下落及び為替の影響による売上減少
- 中国で小型車向け新規部品立上げにより受注増加
- インドでディーゼル車離れによる受注減少

セグメント損益：11.8億円増（前期比206.6%増）

- 中国における販売量増加と製造コスト低減により増益

決算期：中国12月期、インド3月期

レート（15通期⇒16通期） 人民元 19.21⇒16.56 インドルピー 1.84⇒1.63

アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2016年3月期		2017年3月期		増減	
アルミニウム事業	売上高	4,921	100.0%	4,402	100.0%	△519	△10.5%
	セグメント損益	338	6.9%	274	6.2%	△64	△18.9%
完成品事業	売上高	2,590	100.0%	2,263	100.0%	△327	△12.6%
	セグメント損益	212	8.2%	155	6.8%	△57	△26.7%

アルミニウム事業

- 売上：販売量は増加するが販売価格の下落により減収（前期比10.5%減）
- セグメント損益：原価低減活動効果はあったがアルミ市況影響により減益（前期比18.9%減）

完成品事業

- 売上：半導体関連企業のクリーンルーム物件やコンピュータルーム物件の受注が減少し減収（前期比12.6%減）
- セグメント損益：減収による影響等により減益（前期比26.7%減）

研究開発・サービス・技術のリーダーを目指して



【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664

E-mail: ahresty_MPO_IR@ahresty.com

URL: <http://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。